



【問い合わせ先】 電話 045 - 211 - 1118
交通部企画課 (船舶事故担当)
課長 土崎 弘志 (内線番号 2610)
警備救難部救難課 (人身事故担当)
課長 森本 和博 (内線番号 3250)

平成 21 年 1 月 14 日
第三管区海上保安本部

平成 20 年の第三管区内における 海難発生状況等について (速報値)

1. 船舶事故について

(1) 船種別船舶事故隻数 (資料〔1〕〔2〕参照)

平成20年の船舶事故は338隻で、平成19年に比べ2隻減少
プレジャーボート・貨物船・漁船が10年連続ワースト3で、船舶事故の約7割を占めている。(プレジャーボートは過去10年連続最多)
平成20年のプレジャーボートの船舶事故が132隻で、平成19年に比べ20隻減少

船種	平成 19 年 (隻)	平成 20 年 (隻)	増減 (隻)
プレジャーボート	152	132	20
貨物船	67	72	5
漁船	45	45	0
タンカー	22	22	0
旅客船	13	11	2
遊漁船	12	11	1
その他	29	45	16
合計	340	338	2

プレジャーボート：スポーツ又はレクリエーションに用いられるモーターボート、ミニボートを含む

その他の一般船舶：作業船、曳船、押船、台船、はしけ、クレーン船等

(2)種類別船舶事故隻数(資料〔3〕参照)

衝突・乗揚げ・機関故障が過去8年連続ワースト3で、船舶事故の約6割を占めている。(衝突は過去10年連続最多)

平成20年の衝突は122隻で、平成19年に比べ4隻減少、平成20年の乗揚げは38隻で平成19年に比べ5隻減少

種類	平成19年(隻)	平成20年(隻)	増減(隻)
衝突	126	122	4
乗揚げ	43	38	5
機関故障	43	43	0
運航阻害	34	21	13
転覆	19	22	3
浸水	19	18	1
火災	17	14	3
安全阻害	12	19	7
推進器障害	8	19	11
舵障害	3	9	6
爆発	0	1	1
その他	16	12	4
合計	340	338	2

運航阻害：バッテリーの過放電、燃料欠乏、ろ・かい喪失、無人漂流

安全阻害：転覆に至らない船体傾斜、走錨、荒天難航

その他：有人漂流、船位喪失等

2. 人身事故について（資料〔1〕〔5〕〔6〕参照）

平成20年の人身事故者は449人で、平成19年に比べ72人減少
（船舶事故によらない乗船者の事故者が22人減少、マリンレジャーに伴う海浜事故者が39人減少、マリンレジャーに伴わない海浜事故者が11人減少）

事 故 区 分	平成 19 年	平成 20 年	増減
船舶事故によらない乗船者の事故	169	147	22
マリンレジャーに伴う海浜事故	206	167	39
マリンレジャーに伴わない海浜事故	146	135	11
合 計	521	449	72

船舶海難によらない乗船者の事故：船舶事故以外の事由により発生した船舶の乗船者の事故

マリンレジャーに伴う海浜事故：海水浴、釣り、潮干狩、サーフィン、ボードセーリング、スキューバダイビング等の海洋における余暇活動に伴って発生した事故

マリンレジャーに伴わない海浜事故：余暇活動に伴うもの以外の海浜において発生した事故

3. 死亡・行方不明者数について

(1) 船舶事故による死亡・行方不明者数（資料〔4〕参照）

平成20年の船舶事故による死亡・行方不明者数は11人で、平成19年より7人増加
平成20年の船舶事故による死亡・行方不明者11名全員が海中転落を伴う死亡・行方不明者で、うち8名がライフジャケット非着用

船 種	平成 19 年	平成 20 年	増減
漁 船	1	7	6
プレジャーボート	3	3	0
そ の 他	0	1	1
合 計	4	11	7

平成20年のその他の船種は「はしけ」

(2)人身事故による死亡・行方不明者数（資料〔5〕〔6〕参照）

平成20年の人身事故による死亡・行方不明者数は203人で、平成19年より6人増加

事 故 区 分	平成 19 年	平成 20 年	増減
船舶事故によらない乗船者の事故	32	37	5
マリンレジャーに伴う海浜事故	63	61	2
マリンレジャーに伴わない海浜事故	102	105	3
合 計	197	203	6

4．ライフジャケットの着用状況について

(1)船舶からの海中転落者のライフジャケット着用率

平成20年の船舶からの海中転落者におけるライフジャケット着用率は約62%で、平成19年と比べ約9ポイントの減少

	平成 19 年	平成 20 年	増減
海中転落者数	122	103	19
うちライフジャケット着用者数	87	64	23
着 用 率	約 71%	約 62%	9 ポイント

着用率={ライフジャケット着用者数 / 海中転落者数} × 100(%)

(2) 船舶からの海中転落者の

ライフジャケット着用、非着用による死亡率

平成20年の船舶からの海中転落者のうち、ライフジャケット着用者の死亡率は約6%であるのに対し、非着用者の死亡率は約56%で着用者の約9倍の死亡率

		平成 19 年	平成 20 年	増減
ライフジャケット 着用	海中転落者数	87	64	23
	うち死者・行方不明者数	2	4	2
	死亡率	約 2%	約 6%	4ポイント
ライフジャケット 非着用	海中転落者数	35	39	4
	うち死者・行方不明者数	14	22	8
	死亡率	約 40%	約 56%	16ポイント

死亡率={死亡・行方不明者数 / 海中転落者数} × 100(%)

5 . 118番による通報状況

平成20年の船舶事故・人身事故687件うち、171件(全体の約24%)が118番による通報(第一報)

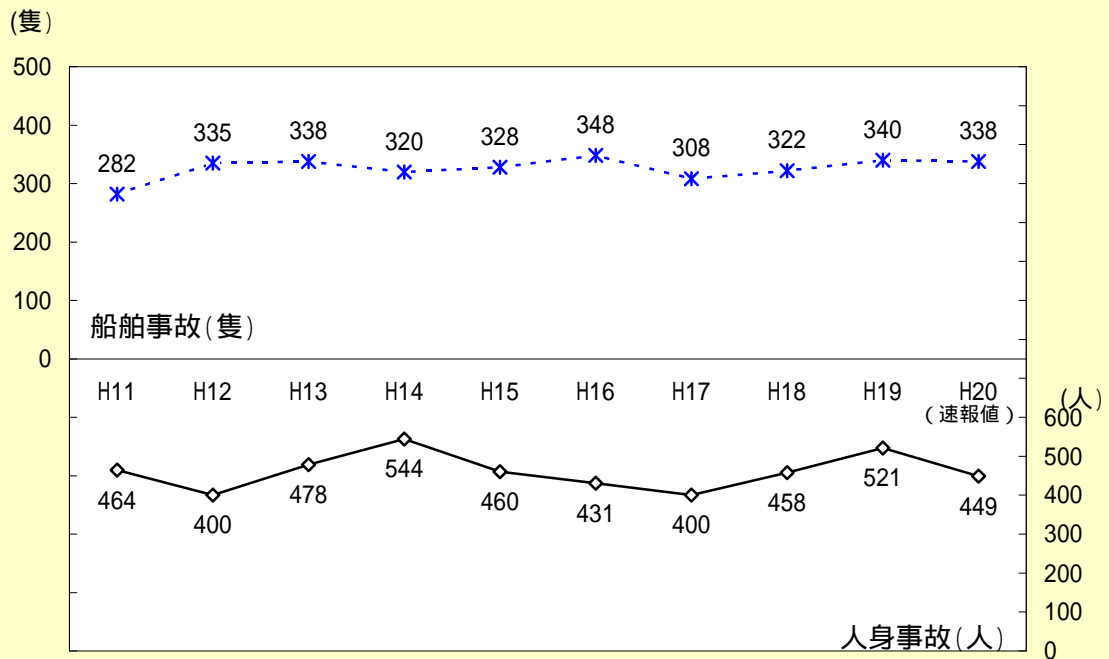
	平成 19 年	平成 20 年	増減
船舶・人身事故件数	727	687	40
うち 118 番による通報件数(第一報)	223	171	52
118 番(第一報)利用率	約 30%	約 24%	6ポイント

118番(第一報)利用率={118番による通報件数(第一報) / 船舶・人身事故件数} × 100(%)

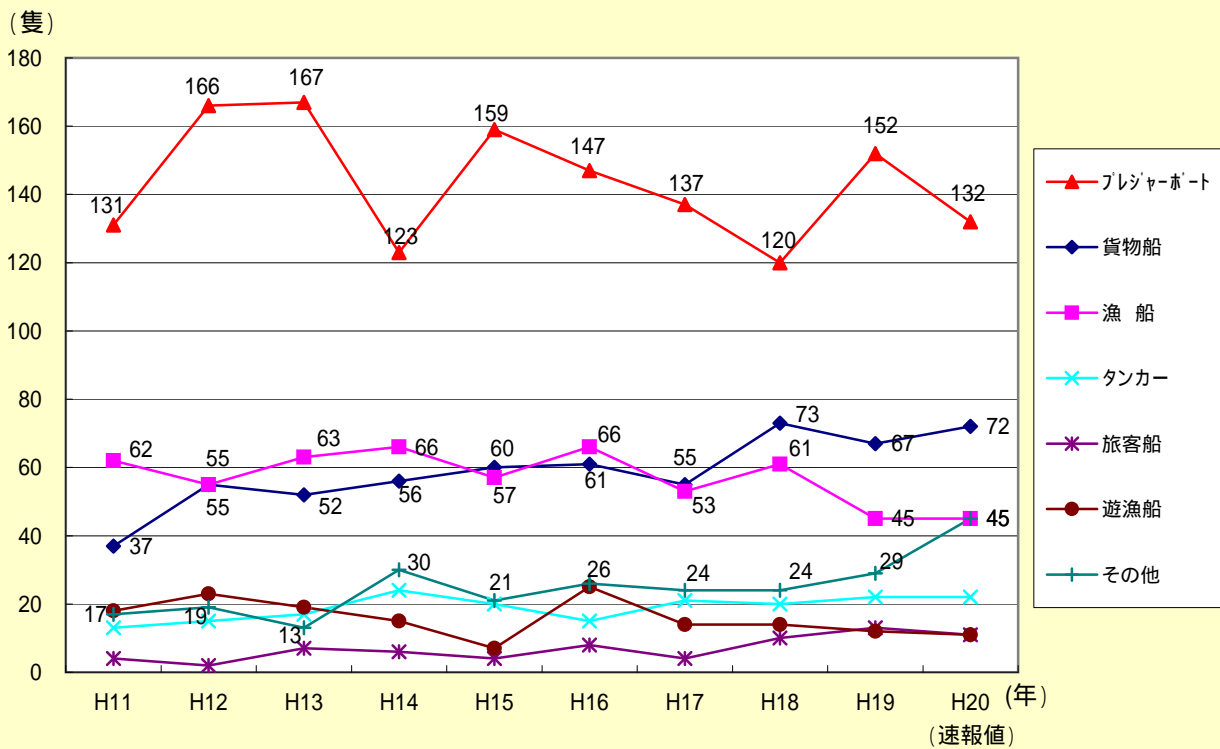
愛します! 守ります! 日本の海



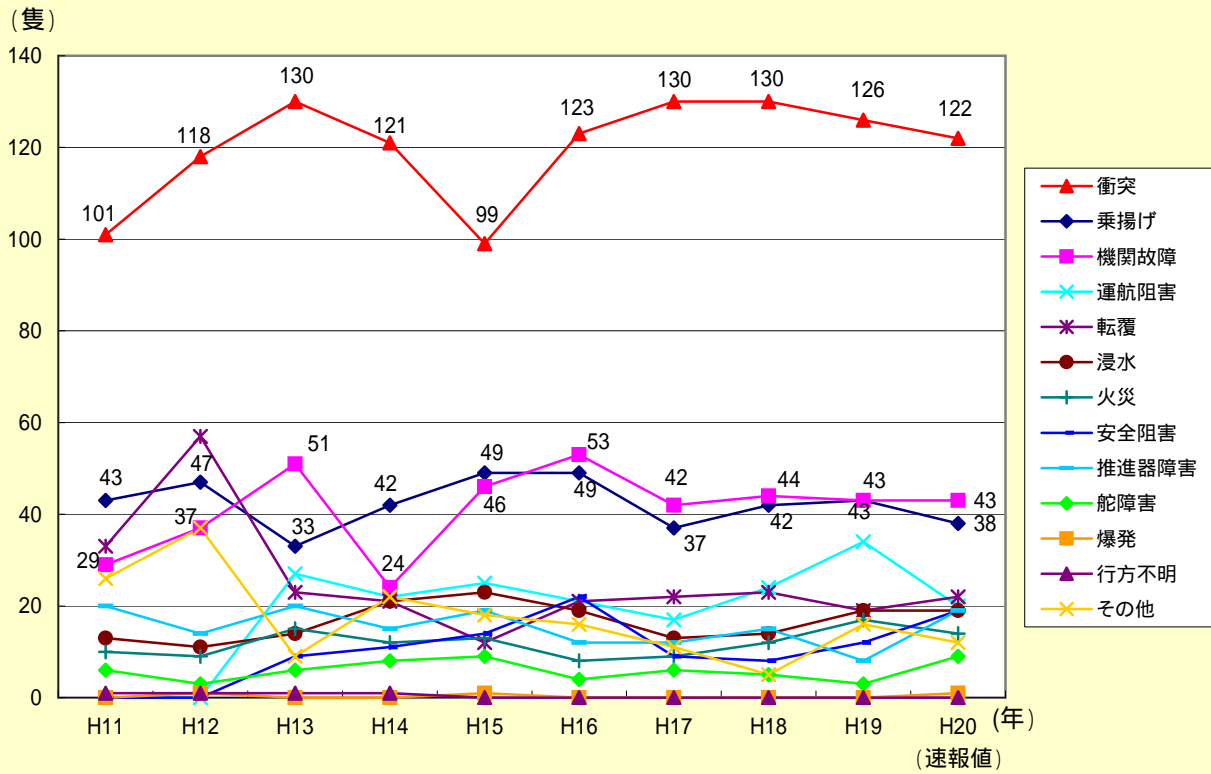
〔1〕 船舶事故及び人身事故の推移



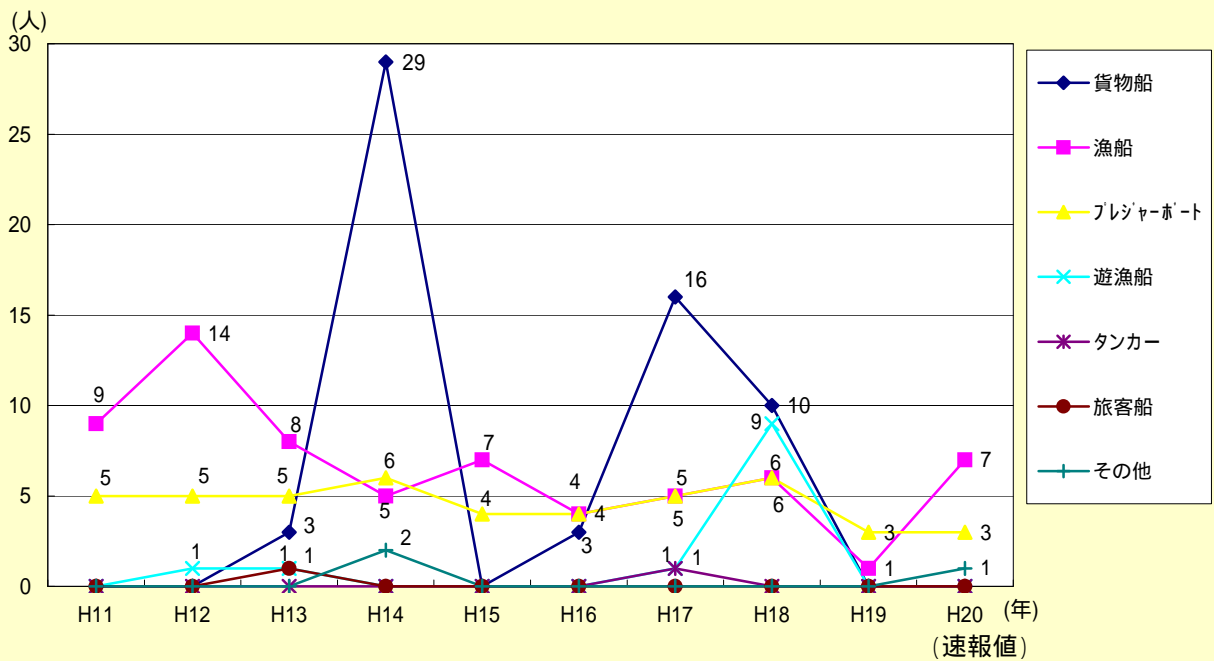
〔2〕 船種別船舶事故の推移



〔3〕 種別別船舶事故の推移



〔4〕 船舶事故による船種別死亡・行方不明者数の推移



〔5〕人身事故の発生状況

		平成19年		平成20年		増減	
事故区分	事故内容	事故者	死亡・ 行方不明者	事故者	死亡・ 行方不明者	事故者	死亡・ 行方不明者
船舶海難によらない乗船者の事故	海中転落	27	12	21	15	6	3
	負傷	78	4	63	2	15	2
	病気	44	8	45	11	1	3
	中毒	2	0	2	1	0	1
	自殺	6	4	8	6	2	2
	その他	12	4	8	2	4	2
	計	169	32	147	37	22	5
マリンレジャーに伴う海浜事故	海中転落	31	15	35	15	4	0
	負傷	18	0	13	0	5	0
	病気	9	5	3	1	6	4
	溺水	73	42	56	44	17	2
	帰還不能	72	1	59	1	13	0
	その他	3	0	1	0	2	0
	計	206	63	167	61	39	2
マリンレジャーに伴わない海浜事故	海中転落	41	23	37	27	4	4
	自殺	91	70	86	72	5	2
	その他	14	9	12	6	2	3
	計	146	102	135	105	11	3
総計		521	197	449	203	72	6

〔6〕マリンレジャーに伴う海浜事故詳細

	海中転落		負傷		病気		溺水		帰還不能		その他		計		増減
	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	H19	H20	
遊泳中			3	1	1		45	32	22	20	1		72	53	19
			0	0	0		28	27	0	0	0		28	27	1
磯遊び中	4	1	5		3		13	3	15	4			40	8	32
	1	1	0		3		8	3	0	0			12	4	8
釣り中	25	32			1		1	2	2	12	1		30	46	16
	13	14			0		1	2	0	0	0		14	16	2
サーフィン中			4	6	1		2	7	19	19			26	32	6
			0	0	0		1	5	0	1			1	6	5
ボートセーリング中			1				2		4	2	1		8	2	6
			0				1		0	0	0		1	0	1
スキューバダイビング中				2	3	3	9	10	4	2		1	16	18	2
				0	2	1	2	5	1	0		0	5	6	1
ウェイクボード中													0		0
													0		0
その他	2	2	5	4			1	2	6				14	8	6
	1	0	0	0			1	2	0				2	2	0
計	31	35	18	13	9	3	73	56	72	59	3	1	206	167	39
	15	15	0	0	5	1	42	44	1	1	0	0	63	61	2
増減	4		5		6		17		13		2		39		
	0		0		4		2		0		0		2		

上段：人身事故者数

下段：うち死亡・行方不明者数